

都市と交通 スライド課題

チーム名 1/2無免許

柏倉穰成 佐々木大和 鈴木鷹亮 鈴木達也

なぜバズやタクシーは人手不足により 利便性の向上が難しいか

考えた課題

- ・労働条件が厳しく、若年層の就職希望者が減少
- ・二種免許が必要なため、大変なイメージ
- ・地方で利用者が減少して経営悪化が続く
- ・責任や、拘束時間と賃金が見合っていないのではないか

現状と理想的な状態について

〈現状〉

バスやタクシーの運転手は地方の場合どうしても賃金が低くなってしまったり、免許の面からも参入しづらい。利用者が減少する一方の悪循環に陥り、収益悪化。

〈理想〉

- ・都市部と地方に差があるため、安定した水準の良い賃金
- ・公共交通を行政と連携して、地域に適した柔軟な体系にする
- ・若年層だけでなく、女性も参入しやすいようにして、雇用者を増やしていく

ビジョン(目指すもの)

公共交通を「**利益を求めるもの**」ではなく、「**生活インフラ**」として確立して、誰もが安定して移動することのできる地域社会を実現する

具体的な解決策

1, 運転手の一部を一部だけ公務化とする

- ・ 会計年度任用職員として
 - ・ 不採算の時間帯などを代わりに運転
 - ・ 高齢者が多い場所が通学、通院などの路線を担当する
- ・ 雇用と収入の安定と人手不足による便数の減少の緩和が見込まれる

2,市役所に交通課のようなものを設置

- ・ 路線・ダイヤの管理を行ってもらう
 - ・ バス、タクシー、デマンド交通を統合してかんりしてもらう。
 - ・ 補助金を国から通リやすくする
-
- ・ 行政と連携することでサービスの効率が失われず、スムーズに物事を進めることができるようになると思う

3,民間事業者と行政の協力する体制を取る

- ・ 行政は運行の計画と補助を行う
- ・ 民間は実際に運行することと、道路の状態など行政に知らせる
- ・ 民間ゆえの大変さを行政が手伝うことで運転手は「キツイ」というイメージを解消できる

まとめ

行政が主体的に公共交通について取り組んでいくことで、民間の専門性を生かして、**効率性と働きやすい仕事**を作っていけるはずである。公共交通だけでなく、ほかの物事でも利益を求めるのではなく、社会基盤としてとらえることが必要になると考える。

参考文献

国土交通省「バス運転者不足の現状と対策について」－国土交通省

[HTTPS://WWW.MLIT.GO.JP/JIDOSHA/JIDOSHA_TK3_000112.HTML](https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk3_000112.html)（参照2026-01-15）WEB

[3] 総務省「地方公共団体における公共交通政策の現状」－総務省

[HTTPS://WWW.SOUMU.GO.JP/MAIN_SOSIKI/JICHI_GYOUSEI/C-GYOUSEI/KOUTU.HTML](https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/koutu.html)（参照2026-01-15）WEB